

創ろう
未来の
広島！



広島県議会議員
＜東区＞

かきもと 忠則

がんばろう！
広島

かき～がむしらが通信

Vol. 6

議会だより 広島市東区版 2020.11.16号

一般の医療機関でもPCR検査可能に！PCR検査1日5,700件を目指す！※年度内
医療資材不足に備え、メーカーと協定を締結！
議決を経ずに財産取得！コンプライアンスの徹底、再発防止を求める！
現金を受け取ったとされる県議13名の『説明責任の場を求め』議長へ要請行動！

9月定例議会が、9月18日～10月6日までの19日間の会期で開催されました。

本議会では、新型コロナウイルスにおける経済的支援措置をはじめ、インフルエンザ流行と新型コロナウイルスへの対応強化や感染が疑わしい場合に迅速にPCR検査が受けられる体制整備を進めてまいりました。

広島県は、都市部に比べて感染者の発生は比較的少ない傾向にありますが、経済活動と感染拡大防止のため、引き続きコロナと正しく付き合っていくことが大切です。

一方で、医療資材や学校備品を議会の承認を経ずに購入したことが発覚し、行政運営の透明性や公平性を強く求めました。また、決算特別委員会に選任され、県の政策や課題を厳しくチェックしていくよう取り組んでいきます。

補正
予算

9月補正予算約334億円（一般会計）が可決！
コロナ対策関連 累計約1,349億円！
平成30年豪雨災害関連 累計約3,635億円



補正予算のポイント

●新型コロナウイルス感染症対策関連 約226億円

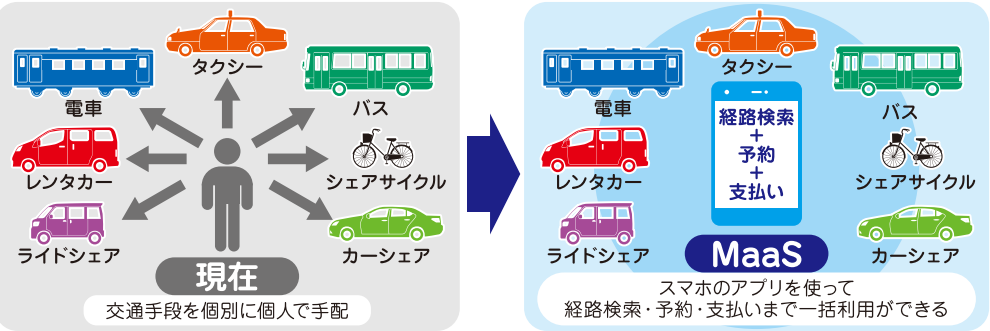
- ・歓楽街における感染拡大防止 約1億5千万円
- ・地域公共交通機関の運行継続等支援 約38億円
- ・介護施設等の職員の抗原検査 約3億4千万円
- ・新たな地域交通体系の整備（※MaaS事業検証） 約1億5千万円
- ・スポーツ、文化芸術、NPO法人の活動支援 約2億3千万円
- ・光ファイバー等の情報通信基盤整備 約22億円 など

●平成30年豪雨からの創造的復興による新たな広島県づくり 約15億円

●令和2年豪雨などの復旧関連 約130億円

●旧広島陸軍被服支廠の安全対策などに向けた再調査・検討 3千万円 など

※MaaS（マース）とは・・・
ICT（情報通信技術）を活用してマイカー以外の移動をシームレスにつなぐ」という概念。
先進国フィンランドでは、月額定額制で料金を気にすることなく様々な交通手段を自由に利用することができ便利です。地方における交通手段の確保という面でも、非常に有効なシステムとして期待されています！



かきもと 忠則 柿本忠則 プロフィール

【委員会】
生活福祉保健委員会・
地方創生・行財政対策特別委員会・
NEW 決算特別委員会

【その他】
如水館高校OB会広島地区副会長

1982年3月23日 尾道生まれ
2000年 私立如水館高等学校卒業
2000年 JR西日本入社
駅務車掌、新幹線運転士など経験
2019年 広島県議会議員（東区）初当選

【地域とのつながり】
温品学区社会福祉協議会理事
温品小学校PTA会長（4期目）
温品おやじ音楽部
地区防災士・消防団
東区剣道連盟顧問
東区愛好会ビーチボールバレー顧問
その他クラブチーム（青少年）の顧問

広島県議会議員 かきもと忠則事務所

〒732-0033 広島市東区温品 5-2-18
電話/FAX：082-554-8323
メールアドレス：t.kakimoto2122@gmail.com
携帯：090-7500-0534



公式サイト



Facebook



かきもと忠則
公式LINE@

友達申請お待ちしております

活動 委員会での活動

検査体制がこう変わります!

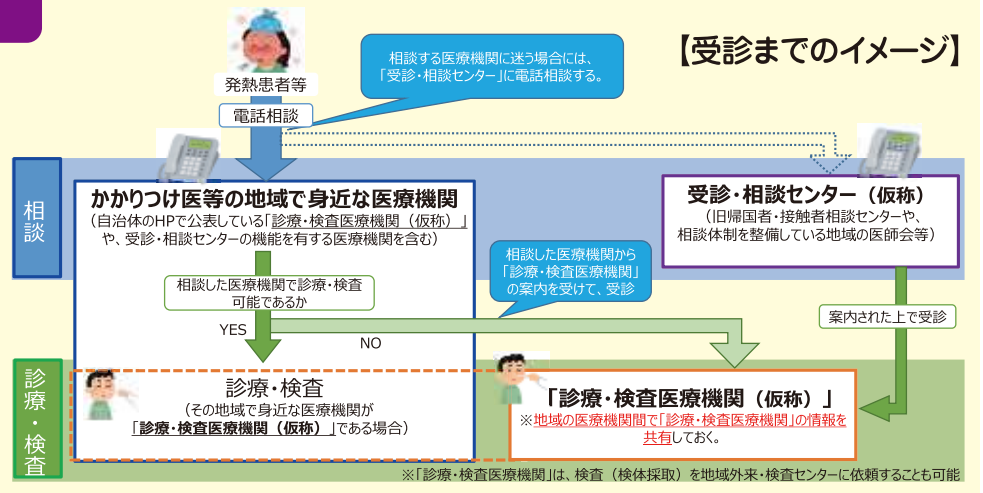
インフルエンザの流行と新型コロナウイルスへの対応強化のためPCR検査が一般の医療機関でも可能になります。現在県内870箇所(9/28現在)箇所での実施ですが、今後も検査に協力してもらえ医療機関を増やし、**検査能力の増強**を行っていきます。

※医師が患者の診療のための検査が必要と判断した場合は保険適用、それ以外の場合は自由診療となり保険適用外

【1日にできるPCR検査能力(見込み)】

区分	8月末	12月末	年度末
県内検査能力	1,500件	2,800件	3,400件
民間検査機関	2,300件	2,300件	2,300件
合計	3,800件	5,100件	5,700件

※これまでに実施した1日の最大検査件数…480件



質疑 柿本が質疑する!

医療資材の確保! 不妊治療への支援を要望!



Q コロナ発生以降、医療資材が入手困難となった。第2波、第3波に備えた医療資材確保の県の考え方?

A ピーク時の使用量の2カ月分とし、各事業者、広島県が分担して各1カ月分を備蓄できるように努める。さらにメーカー等による流通備蓄を1カ月確保するため9月に協定を締結した。

➡医療現場で医療資材が確保できるよう県の支援を要望!

【参考】県の備蓄状況(10月2日現在)

品目	マスク	N95マスク	ガウン	フェイスシールド	手袋
備蓄目標(1カ月分を想定)	600万枚	10万枚	60万枚	10万個	1,600万枚
現状(目標に対する割合)	691万枚(115%)	11万枚(110%)	59万枚(98%)	12万個(120%)	782万枚(48%)

Q 不妊治療で悩んでいる人が増えている。国が不妊治療の保険適用、助成拡充を検討しているが、県の取組みや課題認識は?

A できるだけ早期に夫婦がともに検査を受け、治療を開始していただけるよう、国の助成制度に加えて、平成27年度から県独自の助成制度を創設し、不妊検査や不妊治療の助成を行っている。また、不妊治療に係る経済的負担のほか、仕事との両立に苦慮されている方が多いと考えている。

➡費用助成だけでなく休日を取得しやすくする等、制度設計も働きかけるよう要望!!

活動の様子



せとうち広島、感動のミタイケンが待っている。
10/1~12/31まで『せとうち広島』のまだ見ぬ絶景、美味しいグルメ、新たな体験、知られざる伝統や自然など、『ミタイケン(未体験)』というテーマで繋ぎ、県内外からお越しのみなさまをお迎えいたします。瀬戸内の新たな魅力体験してみたいいかがでしょうか。

ミタイケンひろしま
せとうち広島デスティネーションキャンペーン
2020.10/1・12/31

観光列車「etSETOral」

観光高速船「SEA SPIGA」

皆さまの声を県政に! 地域のお困りごとなど、お気軽にご相談下さい

独り言 娘がミニバスをはじめました👧子ども達に負けないよう、たまにこっそり練習しています😊👏

